

救急医療における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用のお知らせ

湘南鎌倉総合病院では以下の研究に協力することとなりました。この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

〔研究課題名〕

救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用(研究代表者 三宅康史)

〔研究の期間〕

施設院長許可後～2030年3月31日。この期間は更新されることがあり、その場合にはあらためて告知します。

〔研究の目的と意義〕

医療におけるレジストリとは「特定の疾患などに関する情報の収集を目的として構築されたデータベース」のことで、「自傷・自殺未遂レジストリ」では、自傷・自殺未遂により救急医療機関に搬送された方の情報を収集します。自傷・自殺未遂は自殺に至る重要なリスクであり、その実態を把握することは世界保健機構(WHO)からも求められています。本研究は、我が国で初めて自傷・自殺未遂に関するレジストリを構築するものですが、自傷・自殺未遂者の方々のデータを収集することにより、それらの方々の実態や医療機関における診療状況などを調査し、その後の対策に活用することで、再度の自傷・自殺行為の防止や、自傷・自殺未遂者の方々に対する適切な対応などを検討することを目的とするものであり、それにより医療の質的向上と有効な自殺対策の確立を目指します。

〔対象者・研究方法〕

対象者：施設院長許可後～2030年3月31日の間に自傷・自殺未遂により当院を受診される全ての方を対象としています。

研究方法：本研究に協力する医療機関において、受診時に記録された診療録から、医療機関に関する情報、診療で得られた医療情報(受診日時、行為の日時・手段・場所・行為時の状況、受診時の身体的・精神的状況、入院の有無・治療後の状況等)、自傷・自殺未遂歴を含むこれまでの状況に関する情報、家族や生活の状況(個人情報除きます)などを抽出し、個人を特定できないよう加工を行った上で、コンピュータ上のシステムに記録します。記録されたデータは安全な通信経路を介してレジストリに蓄積されます。レジストリは、日本臨床救急医学会と厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センターが共同で管理・運用し、レジストリに蓄積されたデータは、本研究に参加する医療機関等(共同研究機関・研究協力機関)が研究に利用します。

〔個人情報の取り扱い〕

氏名、生年月日等については個人を識別できないよう加工し、個人が特定され得る情報は登録しません。登録する医療機関では、コード番号一覧表を用いて登録情報を管理しますが(このコード番号一覧表は研究が終了した場合には破棄します)、第三者に個人情報が知られることは一切ありません。対象となる方で、自分の情報が本研究に使用されることを拒まれる方や、一旦登録された情報の抹消を希望される方、本研究についてより詳しい内容をお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

問 い 合 わ せ 先

問合せ窓口担当者：山本 真嗣

連絡先：湘南鎌倉総合病院 救命救急センター
[0467-46-1717(代表)]

自傷・自殺未遂レジストリに一旦登録された情報の抹消等を希望される方へのお知らせ

当病院を受診された方で、自傷・自殺未遂レジストリ(以下「レジストリ」といいます。)の登録の対象者にあたる方は、自らの情報をレジストリに登録することを拒絶できますし、一旦登録された後でも、ご自身の情報をレジストリから抹消するよう申し出ることができます。

また、未成年者や成年であっても判断能力に問題がある方、受診後亡くなられた方の場合には、ご本人に代わって法定代理人の方などが、この申し出を行うことができます。抹消を希望される方、ご質問がある方、もう少し詳しく説明を聞きたい方は、上記の問合せ窓口担当者にお問い合わせください。利用を拒否された場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご事情をお聴きした上で、回答や補充の説明をし、情報の抹消手続に必要な書類をお渡しします。

参加希望表明機関における研究責任者一覧 ※レジストリ登録予定機関

<所属／職名／氏名>(敬称略)

【研究代表者】

一般社団法人日本臨床救急医学会 自殺企図者のケアに関する検討委員会 委員長
厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター客員研究員
帝京大学医学部 救急医学講座 教授 三宅康史

【研究協力機関】

札幌医科大学医学部救急医学講座 教授 成松英智
旭川医科大学病院救命救急センター センター長 岡田基
八戸市立市民病院 救命救急センター所長 吉村 有矢
大崎市民病院救命救急センター センター長 入野田崇
東北大学病院高度救命救急センター 教授・部長 久志本成樹
石巻赤十字病院救命救急センター センター長 小林道生
秋田赤十字病院救命救急センター センター長 藤田康雄
秋田大学大学院医学系研究科 特任助教 北村俊晴
日本海総合病院救命救急センター センター長 陳正浩
足利赤十字病院救急科 部長 菊池広子
自治医科大学医学部救急医学講座 学内教授 米川力
高崎総合医療センター救急科 部長 小池俊明
前橋赤十字病院集中治療科・救急科 副部長 中林洋介
太田記念病院 救急科主任部長 秋枝一基
川口市立医療センター 救命救急センター 部長 鈴木剛
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 部長(講師) 原義明
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救急部 診療医員 近藤達弥
日本医科大学付属病院大学院医学研究科 准教授・医局長 中江 竜太
杏林大学医学部救急医学 助教 荻野聡之
日本大学病院救急科 科長 斎藤豪
日本医科大学多摩永山病院 病院講師 久野将宗
東京都立多摩総合医療センター 医長 金子仁
東京医科大学 旧級・災害医学分野 主任教授 本間 宙
聖路加国際病院救急部 部長 大谷典生
日本赤十字社医療センター 救急科部長 林宗博

東海大学医学部総合診療学系救命救急医学 教授 守田誠司
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター、部長 井上 潤一
藤沢市民病院 救命救急センター長 赤坂 理
横浜労災病院横浜労災病院救急科 部長 中村俊介
横須賀市立うわまち病院 副病院長 本多英喜
湘南鎌倉総合病院救命救急センター 部長 山本真嗣
平塚市民病院 救命科 主任医長 豊田 幸樹年
長野赤十字病院救命救急センター センター長 岩下具美
相澤病院救命救急センター 医師(医長) 白戸康介
信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 診療助教 服部 理夫
高岡病院救急科 部長待遇 伊藤宏保
石川県立中央病院救命救急センター センター長 明星康裕
福井県立病院救命救急センター 医長 狩野謙一
岐阜大学大学院医学系研究科救急災害医学講座 教授 小倉真治
聖隷三方原病院救命救急センター センター長 早川達也
聖隷浜松病院救命救急センター センター長 渥美生弘
静岡県立総合病院 高度救命救急センター 救急診療部長 登坂直規
中東遠総合医療センター 救急科診療部長 松島暁
名古屋市掖済会病院 救急科部 後藤縁
豊橋市民病院救急科 副部長 石井健太
総合大雄会病院 救命救急センター長 北原雅徳
公立陶生病院 救命救急センター長 市原利彦
伊勢赤十字病院 災害医療部 災害医療部長兼救命救急センター長 説田守道
三重県立総合医療センター救命救急センター センター長 山本章貴
済生会滋賀県病院 救命救急センター長 越後整
洛和会音羽病院救命救急センター 部長 隅田靖之
宇治徳洲会病院 院長 末吉敦
大阪急性期・総合医療センター 主任部長 藤見聡
大阪医療センター総合救急部 診療部長 大西光雄
大阪医科薬科大学病院 救命救急センター長 高須朗
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 助教 廣瀬智也
大阪公立大学大学院救急医学 教授 溝端康光
堺市立総合医療センター救命救急センター センター長 森田正則
兵庫県立西宮病院 救命救急センター長 中川雄公
奈良県立医科大学附属病院救急医学教室 助教 浅井英樹
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 医師 益田充
鳥取大学医学部附属病院救命救急センター センター長・教授 本間正人
岡山大学学術研究院医歯薬学域救命救急・災害医学 教授 中尾篤典
倉敷中央病院救急科 部長 漆谷成悟
広島市立広島市民病院 救急科 部長 藤崎宣友
高知医療センター救命救急センター センター長 齋坂雄一
福岡大学医学部精神医学教室 教授 川寄弘詔
佐賀大学医学部救急医学講座 助教 鳴海翔悟
長崎大学病院高度救命救急センター 教授 田崎修
熊本赤十字病院 第一救急科 部長奥本克己
国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長 洪沢崇行
済生会熊本病院救命救急センター 副部長 佐藤友子
宮崎県立延岡病院救命救急科救命救急センター 医師 金丸 勝弘
北海道大学病院 救急科 医員 土田拓見
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 助手 水野恵子
計 75 機関